



Do you like

some more

ENGLISH?



* ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * **ネガティブの話** * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ * ❄️ *

日本語でネガティブといえは、消極的なマイナス思考を思い浮かべますが、英語で negative は「否定形」という意味です。まずは“no”の話から始めます。no はどんな時に使いますか？

断るときや否定するとき。

「～がない」と言うときも確か no を使ったような気がします。

そうですね。まず、Yeah 君が言った no と Please ちゃんが言った no は、現在は同じ no で表されますが、語源が違います。古英語で、「いいえ」の“no”にあたる語は na/nay で、yes にあたる語は yay/yea です。

おっと、yes の語源は俺の名前に似てる！

古英語の yea をあえて日本語にするならば「しかり」「さよう」、Yeah 君の名前と一緒に yeah は、yes の口語として軽い表現「うん」という感じです。

さて、今回取り上げたいのは、Please ちゃんが指摘した「～がない」という意味の no です。この no の語源は、na(no)+an(one)→nan の n が落ちたもの、none(少しも…ない)と同じ語源です。次の例を見てください。



- A I don't have any homework today.
- B I have no homework today.

どちらも「今日は宿題がない」という表現です。A は助動詞+not でつくった否定文、B は否定限定詞 no を使ったものです。実は、この no が、日本語の概念にない感覚で、日本語でピタッと当てはまる語がないので、「一つ(一人)も～ない」というように訳しています。no を使った文章が否定形でなく肯定形になっているのに気が付いたでしょうか？

本当ですね。「私は持っている」になっています。

no という言葉は感覚として「ゼロ」あるいは「無」と考えた方がイメージをとらえやすいと思います。直訳すると「私はゼロの宿題を持っている」です。同様に nobody, nothing, no one, never もゼロの感覚です。

There was nobody in the classroom.

その教室には0人いた。(≡その教室には誰もいなかった)

I want nothing 私は0のものがほしい (≡私は何もいらない)



では、ゼロというのは通常、単数でしょうか、複数でしょうか？

 え〜？ 1以下なんだから単数じゃないの？

少し意地悪な質問だったかもしれませんが。単数、複数を学習するとき、1つのもの・一人は単数、2以上は複数と習いましたよね。実際は、1か1以外と考えるので、0は1以外だから複数扱いになります。また、小数点の0.5も複数扱いです。

例 Nobita always gets zero **points** on tests. ノビタはいつもテストで0点をとる。

It's about 0.5 **kilometers** from here to the station. ここから駅まで約0.5キロです。

 noがゼロの感覚ならnoがついた名詞も複数になるのですか？

とてもいい質問です。実は、no+可算名詞（数えられる名詞）の場合は、文脈や話し手の「想定」で、単数にも複数にもなります。

 えっ？ どういう意味？ 想定って。

例を見てもらいましょう。



A <単数> He has no wife. (彼には妻がない⇨彼は結婚していない)

B <複数> He has no brothers and sisters. (彼には兄弟がない⇨彼は一人っ子だ)

Aの文で単数扱いになるのは、通常は妻、夫などは一人しかいないものと考えからです。Bの文では、兄弟姉妹は複数いることを想定して、複数扱いになっています。もちろん、一夫多妻制の国や一人っ子政策の国などでは、違う考えがあるかもしれませんが・・・。

ところで、日本語には「不」「非」「無」「未」など「〜でない」表す否定の接頭辞がありますよね。英語でも un-/dis/il/imなどを語頭に置いて反意語をつくる negative prefix があります。

例えば、happy (幸せ) /unhappy(不幸)、like(好む)/dislike(嫌う)、legal(合法的)/illegal(違法な) possible(可能な) /impossible(不可能な)などです。

では、次の例文を見てください。



A I don't like the song. (私はその歌が好きではない)

B I dislike the song. (私はその歌が嫌い)

C I have no liking for the song. (私はその歌が好みではない)

いずれも「その歌が好きじゃない」と言いたいわけですが、「好きではない」「嫌い」そして「好みではない」の間には微妙にニュアンスの違いがありますよね。Bの否定接頭辞で表す文が一番明確ですが、他2つの文は少し曖昧な表現となります。

 なるほど〜。好きじゃないけれど必ずしも「嫌い」と言えないことがありますよね。

たくさんの表現を知って、自分の伝えたいことを明確に伝えられるようになりましょう！

さて、次号はいよいよ Vol.2 の最終号です。英作文についてお話ししたいと思います。



to be continued...